

【様式】

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立桑名高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		<p>普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科および定時制課程を設置する本校の特色を生かし、「桑名から 強くはばたく 人づくり」を目指します。</p> <p>① 地域社会や保護者の多様なニーズに応じて、桑員を支える学校の債務を果たします。</p> <p>② 課程、学科の特色を生かして、多様で魅力ある学校をつくります。</p> <p>③ 長い歴史と伝統を強みとして、公教育への信頼を一層向上させます。</p>
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<p>① 困難に向き合い、自ら課題解決策を生み出し、地球の未来への先駆者となる生徒。</p> <p>② 自己肯定感を持って主体的に学び続け、責任のある行動がとれる生徒。</p> <p>③ 他者と共に支え合って生きていく力を身に付け、地域や社会に貢献できる生徒。</p>
	ありたい教職員の姿	<p>目指す学校像の実現に向けて、互いに助け合い、学び合いながら笑顔を忘れずに教育実践できる教職員。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 学力向上・希望進路の実現・楽しい学校・充実した部活動</p> <p><保護者> 社会性・安心安全・学力向上・社会的自立・希望進路の実現・楽しめる学校・部活動・一人ひとりを大切にする学校</p> <p><地域社会> 地域の誇りとなるリーダーシップや強調性を持つ人材育成や社会貢献・一層信頼できる学校</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><大学> 知的好奇心やコミュニケーション能力の高い生徒の育成</p> <p><中学校> 特色の明確化、中学校への情報提供</p> <p><教育産業> ニーズの明確化</p> <p><保護者> 学校の現状、方針等の情報提供と参画の機会</p> <p><地域社会> 地域活動への参加</p> <p><病院等> 地域医療への関心</p>	<p><大学> 高大連携による情報提供</p> <p><中学校> 中高連携による意思疎通</p> <p><教育産業> ニーズにあった情報提供</p> <p><保護者> 学校と連携した家庭教育</p> <p><地域社会> 地域の教育力の活用</p> <p><病院等> 学校との密接な連携</p>

(3)前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全日制には普通科、理数科、衛生看護科／衛生看護専攻科を有し、定時制も併設しているなか、各課程、学科ともに年度当初の目標が概ね達成されている。今後は、教職員に過度な負担とならないよう留意、工夫しつつ各種取組等が継続されることを期待したい。 ・ 全日製の普通科、理数科については、大学入試は個々の生徒にとっての通過点であり、その先を見据えた指導を期待したい。
(4)現状と課題	教育活動	<p><全日制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科、理数科においては、授業やSSHの諸活動、探究活動を通じて、生徒が自己の実現に向けてより主体的に学ぶよう指導の工夫、改善が必要である。 ・ 衛生看護科、衛生看護専攻科においては、看護師に不可欠である社会人基礎力の育成と看護師国家試験合格に向けて知識、技能が定着するよう指導の工夫、改善が必要である。 ・ 生徒の個々の様子を適切に把握し、生徒が不登校に陥らないよう職員間、外部機関と連携するとともに担任等が1人で抱え込まないよう教育相談体制を充実させる。 <p><定時制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が生徒の抱える背景について理解し、常に情報共有することで、個に応じたよりよい指導を目指す。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の多忙解消に向けて、行事や各種取組、業務の精選と平準化・効率化に取り組む。 ・ 総勤務時間の縮減に向け、時間外労働時間の短縮や年次休暇等を取得しやすい環境の構築に努める。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の自主的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図るため、教科指導の充実とICTの活用を含めた授業改善を進める。 ・ 入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育を体系的に推進する。 ・ 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心を育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組む。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の助け合い、教え合いの文化を育み、教職員が一丸となって取り組む組織ある学校づくりを推進する。 ・ 学校、家庭、地域等との連携を強化し、本校の教育活動を広く地域に発信し、開かれた学校づくりに努める。 ・ 総勤務時間縮減に向けて業務を精選するとともにICTの活用を推進し、多忙化解消に努める。 ・ 一人ひとりの教職員の危機管理に対する意識を高めるとともに組織としての危機管理を推進する。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の目標を定め、目的意識をもって学修に取り組むことを目指す生徒。 ・ 何事にも興味関心を持ち、積極的に新しい物事へ取り組もうとする生徒。
---------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
重点① 教科指導の 充実とICT などの活用 を含めた授 業改善	<p><SSH部> 地球の未来への先駆者となる科学技術人材の育成を目指します。(桑高SGPプログラム)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校設定科目「探究」および「研究」、「看護の統合と実践」において、SDGsの17の目標に対し生徒が主体的に課題を設定し、課題研究に系統的に取り組む活動を実施します。年度末に1回(新生入生は入学直後にも1回)生徒アンケートを実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世の中のさまざまな事象について深く追求しようとする姿勢」、「他の人と協力して物事を解決する力の向上」等の生徒の主体性に係る部分をアンケート調査し、肯定的な意見の合計割合が70%以上を目指します。 	(年度末および適宜記載)	◎
重点② キャリア教 育を体系的 に推進	<p><理数科></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文部科学省より指定を受けたSSH事業と連携し、ICTを積極的に活用しながら、継続的な教科指導や課題研究活動、校内外での研修活動などへの取組を通して、理系キャリア教育の充実と様々な分野において社会に貢献できる人材の育成を図ります。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や校内外の研修における理数科生徒の満足度について、肯定的評価が 80 %以上になることを目指します。 		◎
重点③ 豊かな人格 形成	<p><1 学年></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 面談やオリエンテーションを通じ、生活習慣と学習習慣の定着を図ります。 ○ 学年集会やガイダンス、実習を通じ、進路意識を育て自らキャリアデザインをできるようにします。 ○ 年度途中から提出物をなくし、自ら計画的に学習を進められる生徒を育てます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習状況調査で平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。 ○ 適切な文理選択・科目選択ができていないかを11月の進路協議会で確認します。 		◎

	<p>○ 様々な実習で積極的に活動しているかを実習の様子や日誌、レポートから評価します。</p> <p><2 学年> 【活動指標】 ○ 定期考査や模試後に結果を分析し、学年集会や授業内などで生徒に還元して、復習・予習の重要性を理解させます。加えて、課外授業などにおいて、目的を精選し効率的な選択肢を与え、より自主的な学力育成を実感させます。また、タブレットを用いたオンライン模試などを利用し基本的学力の確認と充実を図ります。 ○ 文理分かれて将来の目標が具体化される中、個人面談を始めとした、様々な進路の可能性を引き出すべく細やかな指導を行うことで、より深い進路実現への学習と、自主学習の推進を図ります。 ○ 修学旅行を始めとした各学校行事において、生徒主体となる活動を推進し、目的・目標を自分たちで設定して、積極的な運営活動を経験させます。 【成果指標】 ○ 学習状況調査の結果を分析し、教科毎の学習状況を確認する。(数学2:英語2:国語1の割合で最低限の学習時間及び学習量を確保しているか、バランス良い学習スタイルの確立を引き続き定着させます。特に夏以降は平日2時間半休日5時間が指標。) ○ 実施した考査の分析結果、および受験した模試結果・データを十二分に生かした課外授業と授業内還元を実施し、数少ない試験形式の問題対策から、日常の予習復習の重要性を説き、入試の7割が基本問題であることの重要性を改めて認識させます。 ○ 主たる修学旅行のコース設定、校外研修の活動内容を自由に選択させることなど、選択の幅を広げることは勿論、生徒会活動に当学年が積極的に関わり刷新できるものについて、当世代ならではの内容にしていくように働きかけます。</p> <p><3 学年> 【活動指標】 ○ 各教科担当・分掌と協力し、生徒の進路実現をサポートします。 ○ 面談回数を増やし、学年集会や進路ガイダンスを定期的に行い、進路意識を高めます。 ○ 定期考査・模試などの成績分析を行い、授業や課外の指導に反映します。 ○ 衛生看護科は臨地実習の事前・事後の指導を計画的に行い、進路実現につなげます。 【成果指標】 ○ 国公立大学の合格者が4割以上を目指します。 ○ 臨地実習の取り組み方や日誌・レポートの提出状況などから進路意識を確認します。</p>		<p>◎</p> <p>◎</p>
--	---	--	-------------------

	<p><衛生看護科></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各科目において、それぞれの角度から思考力や判断力を養い、5年間を通してモチベーションが保てる看護師の育成を目指します。 ○ 看護師としての社会人基礎力を養うために、社会情勢に目を向け、関心を持って学ぶ姿勢を養います。 ○ 自主的、主体的な学習習慣を確立し、学び続ける姿勢を育て学力の向上・定着を図ります。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常から思考や判断プロセスを問うような学習課題を提示し、単純想起型の知識から、自らの思考の基で判断する機会を各科目から体験します。 ○ 産業教育における事業、臨地実習施設行事、ボランティア行事等、積極的に参加し、現場体験に基づく気づき等を大切にします。 ○ 専門領域の充実と、職業観育成のために校外学習や外部講師を通じて、キャリア教育の充実を図ります。 <p><教務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員間における「授業公開週間」を年2回設定し、相互に意見交換することにより授業力向上を図ります。教材観やICT活用事例の意見交換など、教員としての経験年数に関わらず互いに切磋琢磨できるような環境作りに取り組みます。 ○ 事前にわかっている不在の場合は、授業担当者の計画に応じて極力授業の振替等を行い、授業時間の確保に努めます。また、急な変更の場合は当該教科・学年と連携して迅速に対応します。 ○ 観点別評価の位置づけについて、正しく理解を得られるように、生徒や保護者に対して事前に丁寧に説明します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振替の要望に対する達成率90%以上を目指します。 <p><総務部(人権)></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権便りを年5回以上発行し、人権講演会や人権ホームルーム (HR) の実施を通して以下のように取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ① 差別に気づく豊かな心を育みます。 ② 人権問題を仲間と共に学び、互いの気持ちを理解し合い、認め合えるようにします。 ③ 問題解決やよりよい方向を目指して、協調性と積極性を持って取り組みます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権講演会・人権 HR 後の感想・アンケートにおいて肯定的な意見・感想など95%以上を目指します。 	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	
--	---	----------------------------	--

<生徒指導部>

【活動指標】

- 基本的習慣が身につくよう毎朝 10 分間、校門及び北門にて遅刻指導・服装指導を行います。
- 毎朝、登校指導を行い、交通事故防止や交通ルールを遵守する指導を行います。また、「交通安全講話」を開催し、交通事故防止に対する意識を高めます。
- 「セーフティ・バイシクルリーダー」活動から、ヘルメット着用の励行を図ります。
- 挨拶の励行、身だしなみを整える「Formal Week」を隔月に1週間実施し、品格を備えた桑高生を育みます。また、年3回全職員体制で頭髪服装指導を実施し、身だしなみを整える指導を行います。
- 新制服に完全移行し、多様なスタイルが選択できるようになっているため、「着こなしセミナー」を実施し、制服の着崩しがないう、意識の向上を図ります。
- 各学期末にいじめや仲間との関わりに関するアンケートを実施し、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを行います。

【成果指標】

- おおよその生徒が、朝のあいさつを交わすことを目指します。
- 遅刻生徒数 対前年度比 10%減を目指します。
- ヘルメット着用率 50%を目指します。
- 安心して学習できている生徒の割合 90%を目指します。

<進路指導部>

- ・ キャリア教育の推進とともに、生徒の進路希望の実現を図ります。
- ・ 生徒の進路決定に必要な情報や実践活動を適時提供します。

【活動指標】

- 生徒がキャリアデザイン力を高め進路を考える機会として、校内大学説明会、大学教員による講演会、大学見学会、進路ガイダンスを開催します。
- 「進学の手引き」「進学だより」「進学ガイダンス」等を有効に使い、受験情報の提供や意識高揚に努めます。
- 生徒の難関国立10大学進学をサポートするための様々な活動を実施します。その一環として、名古屋大学進学対策講座「名大チャレンジサポート」を実施運営します。

【成果指標】

- 国公立大学の現役合格者数について、卒業生数の4割以上を目指します。
- 難関国立10大学と医学部の合格者数について、現浪合わせて20名以上を目指します。
- 名古屋大学の合格者数について、現浪合わせて13名以上を目指します。
- 3学年4月調査の第1志望校合格者が卒業生数の2割

◎

◎

	<p>以上を目指します。</p> <p>○ 衛生看護科専攻科修了生の看護師国家試験での合格率100%を目指します。</p> <p><保健部></p> <p>【活動指標】</p> <p>○ 心身の健康について考え、生涯を通じて自らの健康を適切に管理できる資質や能力を育てていきます。</p> <p>○ 「桑高ほけんたより」を年間10回以上クラスルームで配信して行きます。「学校保健ニュース」を定期的に掲示します。</p> <p>○ 生徒の心身の健康状態を把握し、問題の早期発見、早期対応に取り組みます。特に必要な生徒に対しスクールカウンセラー等による面談を実施します。</p> <p>○ 「いのちの教育」について講演会を年間1回実施します。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○ 「桑高ほけんたより」を毎月配信、「学校保健ニュース」を毎月掲示します。</p> <p>○ 心身の健康に不安のある生徒に対し面談を一人1回以上実施する。スクールカウンセラー等の面談を定期的に実施します。</p> <p><定時制 学習指導></p> <p>社会の変化に対応し、「主体的で深い学び」を実現するための教育活動に取り組みます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>○ 個に応じた指導で「分かる授業」を目指します。</p> <p>○ 1・2年において、国語・数学で習熟度別の授業を実施し、基礎学力の定着と向上を図ります。</p> <p>○ 日本語で授業をうけることが困難な外国籍生徒について、日常会話や学習言語の定着を図ります。</p> <p>○ 総合的な探究の時間において、防災・環境・安全・健康・人権・進路等に関する講話を実施して、「生きる力」の醸成、生徒間の対話や気づきの促進、自己肯定感の涵養を図ります。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○ 学校生活満足度アンケートで、生徒の回答のうち「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」が80%以上を目指します。</p> <p>○ 授業満足度アンケートで、生徒の回答のうち「とても分かる」または「まあまあ分かる」が80%以上を目指します。</p> <p><定時制 生徒指導></p> <p>基本的な生活習慣の確立を目指し、自律した生活が送れるように指導します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>○ 無断遅刻や無断欠席をなくし、基本的な生活習慣を確立できるように指導します。</p>		<p>※◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
--	---	--	-----------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが気持ちよく挨拶できる雰囲気を作ります。 ○ 校則や社会のルールを厳守するように指導します。 ○ 交通安全指導を繰り返し行い、登下校での無事故を目指します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無断遅刻・無断欠席件数の前年度より50%減を目指します。 ○ 生徒指導案件5件以下を目指します。 <p><定時制 進路指導></p> <p>労働に対する意欲を持つとともに、主体的に進路選択できるように指導します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の理解を深め、キャリア教育の充実を図ります。 ○ ハローワーク等の関係機関との連携を深め、未就労の生徒が就労できるように指導します。 ○ 大学・専門学校等への進学指導を行います。 ○ 卒業後の進路未定者に対して、継続的な指導を行います。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の有職率 70%を目指します。 ○ 卒業後の進路未定者0人を目指します。 		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
重点① 組織力ある 学校づくり	<p><総務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループウェアの活用を呼びかけ、朝の打ち合わせや会議時間の短縮に取り組みます。 	(年度末および適宜記載)	◎
重点② 開かれた学 校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間1回以上の防災訓練、防災ノートを活用した防災学習に取り組みます。 ○ 同僚と相談しながら仕事を進めていける、明るく開かれた職場づくりに率先して取り組みます。 		
重点③ ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ マネジメント委員会と連携をとりながら、学校行事の見直しや業務内容の精選を図り、勤務時間の縮減・負担軽減・教育内容の充実につながるよう取り組みます。 		
重点④ 危機管理体制の整備	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の打ち合わせの全体連絡が8時25分までに終わるように努めます。 ○ 総務部が関わる会議は1時間以内を目指します。 ○ 職員満足度調査の人間関係の項目、「職員間の対話は活発に行われているか」3.0以上、「相談しながら仕事を進めていく体制はできているか」の数値3.0以上を目指します。 ○ 職員満足度調査の職場環境の項目、「仕事が精査されてきたという実感があるか」2.5以上、「定時退校日に定時退校できたか」の数値3.0以上を目指します。 		
	<p><情報部></p> <p>ICTを活用した学習環境の更なる整備を行うとともに、生徒・教職員向けに、授業や講習会等で情報教育を推進します。</p>		
	<p><事務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒や教職員が安全で快適な学校生活を送れるよう、施設設備等の点検・改修を行います。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の保守管理、修繕の不備等に起因する人身事故件数0件 		◎

情報提供	<p>【活動指標】 学校の特色を生かした取組などを、学校HPへの掲載や報道機関への情報提供などを通じて、保護者や地域へ向けた情報発信に努めます。</p> <p>【成果指標】 ○ SSH通信 5回 ○ SSH活動報告 5回 ○ 情報提供 2回</p>		
働きやすい学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や取組の精選を進めます。 ・ 総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくります。 <p>【活動指標】 ○ 設定した日の定時に退校できた教職員の割合 82%以上 (昨年度実績:78.2%) ○ 予定通り休養日を実施できた部活動の割合 98%以上 (昨年度実績:99%) ○ 放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 82%以上 (昨年度実績:81.5%)</p> <p>【成果指標】 ○ 年360時間を超える時間外労働者数 0人 ○ 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 ○ 1人当たりの月平均時間外労働 21時間以下 (昨年度実績:24.8時間) ○ 1人当たりの年間休暇(年休)取得日数 15日以上 (昨年度実績14.5日)</p>		※ ※ ※
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)